

1 上下水道局平成25年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

水道料金及び下水道使用料については、景気悪化の影響による減収傾向が今後もしばらくは続く見込まれます。一方、下水道事業が平成24年に供用開始100周年を迎え、水道事業においても平成26年に給水開始100周年を迎えようとしている中で、浄水場・配水管などの水道施設及び水処理センター・下水管などの下水道施設の老朽化や地震対策、また緊急雨水整備事業をはじめとする浸水対策など、安定的な事業運営のために早急に取り組むべき課題が山積しています。

このように上下水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがありますが、引き続き行財政改革をすすめ経営基盤の強化に努めます。

(2) 主要事業

①水道基幹施設の改築・更新（水道事業）

創設期から100年近くが経過している鍋屋上野浄水場緩速ろ過池及び東山配水場2号配水池をはじめ、老朽化した浄水場や配水場などの施設を整備改良し、おいしい水を安定的に供給するとともに、地震等災害に対する安全性の向上をはかります。

②配水管の更新（水道事業）

老朽化した配水管の布設替及び耐震化をはかるとともに、救急病院や透析医療機関などの重要給水施設に至る管路の耐震化をすすめます。

③下水道基幹施設の改築・更新（下水道事業）

露橋水処理センターの全面改築をはじめとする基幹施設の改築・更新に伴い耐震化をすすめます。また、老朽化した宝神汚泥処理場の代替施設として空見スラッジリサイクルセンター（仮称）が平成25年10月に稼働します。

④下水管の改築・更新（下水道事業）

「第7次下水管路調査改築計画」に基づき、調査を行い、その結果を踏まえ、緊急性の高い箇所から計画的な改築・更新を進めるほか、過去の実績から道路陥没多発地区を選定し、陥没の主な原因となっている取付管の補修工事を集中的に実施します。またその中で、重要な幹線等の耐震化をすすめます。

⑤浸水対策（下水道事業）

平成12年9月の東海豪雨や平成20年8月末豪雨などにより著しい浸水被害が集中した地域及び都市機能の集積する地域において、引き続き雨水貯留施設の建設等を推進します。また、その他の地域においても雨水調整池の整備及び雨水排水ポンプの増強をすすめます。

⑥下水道未整備地域の解消（下水道事業）

下水道未整備地域の解消のため、庄内川西部地区、志段味地区及び桶狭間地区等において、区画整理事業等との整合をはかりながら、引き続き下水道の整備をすすめます。

⑦経営基盤の強化（水道事業・下水道事業）

汚泥処理場等における業務執行体制を見直すことなどにより、業務の効率化をはかります。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成24年度 予定額	平成25年度 予定額
1	春日井浄水場新送水ポンプ所整備工事	現在の送水ポンプ所が老朽化しているため、耐震性を確保するとともに、送水エネルギーの効率化をはかる将来の水運用に向け、新たな送水ポンプ所を整備	—	158
2	鳴海配水場第3配水池整備工事	施設の耐震性を確保し、おいしい水を安定供給するための配水池整備	—	197
3	水の歴史資料館の開館準備	旧東山管理事務所を活用し、水道・下水道分野を中心に歴史的に重要な文書等を系統的に収集・保管し、それらの展示・閲覧等を通じて、両事業の歴史や役割などについて分かりやすく学んでいただける施設の開館準備 平成26年9月開館予定	—	15

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成24年度 予定額	平成25年度 予定額
4	道路陥没多発地区における取付管補修工事	道路陥没多発地区を選定し、取付管の補修工事を集中的に実施	104	206
5	空見スラッジリサイクルセンター(仮称)の稼働	老朽化した宝神汚泥処理場に替わる施設として、空見スラッジリサイクルセンター(仮称)を平成25年10月1日に稼働予定	5,256	2,100
6	水の歴史資料館の開館準備	旧東山管理事務所を活用し、水道・下水道分野を中心に歴史的に重要な文書等を系統的に収集・保管し、それらの展示・閲覧等を通じて、両事業の歴史や役割などについて分かりやすく学んでいただける施設の開館準備 平成26年9月開館予定	—	15

(4) 平成25年度水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 増 △ 引 減
収 入	給 水 収 益	45,476	46,119	△ 643
	そ の 他	3,604	4,042	△ 438
	計 (A)	49,080	50,161	△ 1,081
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	27,260 (9,544)	28,447 (9,991)	△ 1,187 (△ 447)
	資 本 費	20,179	20,009	170
	消 費 税 等	1,526	1,552	△ 26
	計 (B)	48,965	50,008	△ 1,043
A - B		115	153	△ 38

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 増 △ 引 減
収 入	企 業 債	5,000	5,000	—
	出 資 金	276	246	30
	そ の 他	2,150	2,189	△ 39
	計 (A)	7,426	7,435	△ 9
支 出	建 設 改 良 費	19,282	18,663	619
	企 業 債 償 還 金	5,731	5,747	△ 16
	そ の 他	1,588	3,009	△ 1,421
	計 (B)	26,601	27,419	△ 818
A - B		△ 19,175	△ 19,984	809

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(5) 平成25年度工業用水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	給 水 収 益	831	839	△	8
	そ の 他	16	13		3
	計 (A)	847	852	△	5
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	321 (25)	325 (25)	△	4 (-)
	資 本 費	469	461		8
	消 費 税 等	26	26		-
	計 (B)	816	812		4
A - B		31	40	△	9

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	出 資 金	2	3	△	1
	そ の 他	12	10		2
	計 (A)	14	13		1
支 出	建 設 改 良 費	529	458		71
	企 業 債 償 還 金	16	24	△	8
	そ の 他	167	208	△	41
	計 (B)	712	690		22
A - B		△ 698	△ 677	△	21

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(6) 平成25年度下水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	下水道使用料	32,930	33,270	△ 340
	一般会計負担金	37,652	38,218	△ 566
	そ の 他	2,140	2,054	86
	計 (A)	72,722	73,542	△ 820
支 出	維持管理費 (うち人件費)	24,683 (6,670)	25,245 (7,113)	△ 562 (△ 443)
	資 本 費	46,515	46,681	△ 166
	消 費 税 等	1,345	1,434	△ 89
	計 (B)	72,543	73,360	△ 817
A - B		179	182	△ 3

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成25年度 予 定 額	平成24年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	26,000	25,950	50
	国庫補助金	10,748	11,996	△ 1,248
	そ の 他	1,262	1,152	110
	計 (A)	38,010	39,098	△ 1,088
支 出	建設改良費	42,833	46,165	△ 3,332
	企業債償還金	30,675	31,262	△ 587
	そ の 他	76	80	△ 4
	計 (B)	73,584	77,507	△ 3,923
A - B		△ 35,574	△ 38,409	2,835

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。